

【WEB 資料について】

資料がわかりやすい

資料がとても丁寧で分かりやすい。また、様々な人の調査結果などを共有される点が勉強になって良いと感じる。

授業用のホームページがとても見やすくてわかりやすいところ

講義資料が教員の特設ホームページに全て掲載されており、いつでも見返すことができた。また、講義資料に比較をしやすい工夫がなされており、学びやすかった。

質の高い資料を参考にしながら授業を受けられる点。

図や写真が多く載っていて、説明の際に分かりやすかったです。

“専用のサイトがあり、情報を簡単に得ることができました。”

(教員より) 主題図の多くは自作です。なるべく多くの地図を学生に見せて、そこから情報を読み取ってもらえるよう努力しています。読書と作文を繰り返すことで国語力が高まるのと同様に、読図と作図を繰り返すことで地理学的スキルは磨かれると思っています。

【講義内容・災害について】

“津波の際どのように逃げるのか、逃げ方を考えた事がなかったので、とても興味深い内容でした。”

様々な災害について学べ非常に興味深い。

自然災害の多い日本で生活していく上でとてもためになる授業だと思う

様々な事例を挙げ、かなりわかりやすい講義でした。

個の学生が尊重され、評価やフィードバックが丁寧でした。

(教員より) 死なないための地理学を意識したつもりです。「災害の現場に自分がいたら…」という視点で思考することが大切だと思っています。

【実習的な内容について】

多様な実習によって、地理学的な技術が身に付きました。

実習の授業があり面白かった。

実際に屋外で調査などを行う機会があり、ハザードマップや大学周辺への理解がさらに深まって良かったです。

(教員より) やはり、地理学は空の下でやると面白味が増すと思います。

【教室の設備】

冷房が寒い時がある。

(教員より) がまんしていたのね。言ってくださいね。

【気象観測・フィールドワーク】

フィールドワークなどがあり、地理学科らしい授業だったと思います。

フィールドワークできたのは良かった。暑すぎたので暑い日はやらないほうが良いと思った。

40度近い暑さでの気象観測は命の危険を感じたため今後の実行は要検討すべきと思った点。

(教員より) 近年は常識を超える暑さの日が増えてきています。次年度より「熱中症警戒アラートが発出され、観測開始時の気温が35℃以上の場合は、移動観測は中止する」ということにします。